

目標流量の降雨パターンを検討するために行った氾濫計算は直轄管理区間の外水氾濫を想定したものであるため、支川の氾濫や内水については含んでいない。  
 想定被害は直轄管理区間からの外水による氾濫被害の可能性のある区域を包含するものであり、名寄市をはじめとする沿川の市町村の資産が集中する市街部を含んでいるため、想定被害額が大きくなっている。

